

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	土木部 都市政策課	田坂 朋裕
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	② 長崎市中央部のランドデザイン	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額 21,615	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)						(取組項目)				
長崎市中央部では、都市・居住環境整備基本計画を策定し、新幹線開業に向けたまちづくりを進めてきましたが、さらにその先を見据えて、まちづくりの方向性を示すランドデザインや重点4エリアにおける整備計画を見直し、計画的な都市基盤整備を進めるとともに、長崎スタジアムシティプロジェクト等のまちづくりに貢献する民間都市開発への支援を検討します。						i) 長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的とした、専門家と事業実施機関によるデザイン検討・調整 ii) 長崎港周辺におけるアーバンデザインシステムを活用した、先導性が高く、景観的に優れた施設整備の推進 iii) 長崎市中心部の交通結節機能の強化				
事業群	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 令和2年に指定を受けた都市再生緊急整備地域「長崎中央地域」において、一定の要件を満たす民間都市開発事業に対し減税措置等を行うことで開発を支援する。 令和3年に「長崎スタジアムシティプロジェクト」と「(仮称)新長崎駅ビル開発プロジェクト」が民間都市再生事業計画に認定された。 引き続き、開発計画のある民間事業者と協議・調整等を行い、優良な都市開発の促進を図っていく。
	長崎都心地域における民間都市再生事業計画の認定数(累計)		目標値①	2件	2件	2件	2件	4件	4件(R7)	
			実績値②	2件	2件				進捗状況	
		達成率②/①	100%	100%					順調	

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等	
				R3実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率
				R4実績					R4目標	R4実績		
				R5計画	R5目標	R5実績						
事業実施の根拠法令等			事業対象									
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)									
所管課(室)名												
取組項目 i	○	1	都市再生推進事業	2,918	2,918	8,959	長崎駅周辺地区において、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を通じ、エリア内で整備される民間施設3件のデザイン調整を行った。	【活動指標】	2	1	50%	●事業の成果 ・会議は事業の進捗状況を考慮し、上半期の1回に集約して開催した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎都心地域である長崎駅周辺地区において、デザイン調整を行い、周辺環境と調和の取れた都市空間を創出することができた。
				2,162	2,162	6,818		長崎駅周辺エリアデザイン調整会議の開催回数(回)	2			
				2,174	2,174	9,950		【成果指標】	17	17	100%	
			H21-	—	—	デザイン調整が整った施設数の累計(施設)		19	20	105%		
都市政策課	—	—	—	県、長崎市、民間事業者				22				

取組項目 ii	○	2	環長崎港地域都市再生調整事業	7,732	7,732	3,506	アーバンデザイン専門家会議において、県庁舎跡地等のデザイン調整を行った。	【活動指標】 アーバンデザイン会議等の開催回数(回)	11	12	109%	●事業の成果 ・事業毎のデザイン調整の時期に合わせスケジュール管理を行い、必要に応じてオンライン開催をした。当初予定より検討案件が少なかったため、実績は目標値より下回っている。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎都心地域を含む、長崎港周辺地域において、デザイン調整を行い、魅力的な都市景観を形成することができた。
				7,115	7,115	7,792			11	8	72%	
				12,083	12,083	11,371			9			
				—					【成果指標】 アーバンデザイン会議等の検討を経て完成した事業数(件)	1	1	
			H10-	—				1	1	100%		
			都市政策課	—	—	—	県、長崎市、民間事業者		1			
取組項目 iii	○	3	都市再開発支援事業	5,600	3,487	8,959	長崎駅前バスターミナル等の再整備に向け、周囲の土地・建物所有者など地域の皆様の意見を聞きながら、再整備の計画立案、事業手法等の検討を行った。	【活動指標】 地権者等に対する地元説明会等の開催回数(回)	4	4	100%	●事業の成果 ・長崎駅前バスターミナルの再整備に向け、地権者との個別面談や世話人会を開催することはできたが、地元調整等に時間を要しており、事業計画案の策定には至らなかった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎の玄関口に相応しいまちづくりを目指し、新たな都市開発の検討へ支援を一定行うことができた。
				12,338	6,882	9,740			2	4	200%	
				29,862	11,181	14,214			6			
				—					【成果指標】	—	—	
			R3-5	—				1	0	0%		
			都市政策課	—	—	—	対象地の権利者、地域住民	事業計画案の策定	1			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的とした、専門家と事業実施機関によるデザイン検討・調整	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を通じて、長崎市交流拠点施設(MICE)やホテル、長崎放送(NBC)新社屋などについて周辺環境と調和したデザイン調整を実施してきた。令和4年度は民間の大規模施設であるJR九州新長崎駅ビルのデザイン調整が完了した。令和4年9月に西九州新幹線が開業したが、長崎駅周辺地区では、今後も公共及び民間施設の整備が予定されていることから、令和5年度も継続的なデザイン調整が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>長崎駅周辺地区では、公共及び民間施設の整備が予定されていることから、引き続き、円滑なデザイン調整を進める。</p>
ii	長崎港周辺におけるアーバンデザインシステムを活用した、先導性が高く、景観的に優れた施設整備の推進	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>これまで20年以上に亘り、先導性が高く、景観的に優れた施設整備のためのデザイン調整を行ったことにより、グッドデザイン賞を6度受賞するなど、全国的な評価を得てきた。その一方で専門家の高齢化が進み、若い委員の起用が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>アーバンデザインシステムで築いてきた思想について、専門家の意見を踏まえながら、同システムの意義や立ち上げの経緯、これまでの成果・実績を取りまとめ、次の世代の専門家等へ引き継いでいく。</p>
iii	長崎市中心部の交通結節機能の強化	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>長崎駅周辺や松が枝周辺における交通結節機能の強化に向け、関係者等への説明や意見交換を行っているものの、地元調整に時間を要しており、事業計画案等の策定には至っていない。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>引き続き、関係者等への説明や意見交換を実施し、地元調整等を進め、事業計画案等の策定を目指す。</p>

4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載	令和6年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	都市再生推進事業	—	—	今後も公共施設や長崎駅周辺土地区画整理事業区域内等における民間開発が進むと想定されることから、引き続き、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議において周辺環境と調和したデザイン調整を円滑に進めていく。	現状維持
			H21-				
			都市政策課				
取組項目 ii	○	2	環長崎港地域都市再生調整事業	—	—	アーバンデザイン専門家会議における若い委員の起用を進めながら、松が枝国際観光船埠頭の2バース化や県庁舎跡地など長崎港周辺で整備される施設についてデザイン検討を行い、魅力的な都市景観の形成を進めていく。	現状維持
			H10-				
			都市政策課				
取組項目 iii	○	3	都市再開発支援事業	—	—	長崎駅前バスターミナル等の再整備に向け、計画立案、事業手法等を検討し、地権者との合意形成など地元調整を行ってきた。今後は地元が主体となって検討を進めていくことになる。	終了
			R3-5				
			都市政策課				

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点